

# おじいちゃんはおじぞうさま

村上心都

わたしのおじいちゃんは、大工さんです。おしごとの時は「とうりよう」や「おやかた」とよばれています。

「こんな木のくずおとしているのは、おじいちゃんしかいない。」

おばあちゃんは、そう言っておこります。じゅうたんの上におちた木が、わたしたちにささないように、おばあちゃんはすぐそうじをします。

「ヒツヒツヒツ、おこられちゃった。」

おじいちゃんは、わらいながらわたしを見ます。わたしも、つられてわらいます。

わたしは、おばあちゃんに、

「おじいちゃんて、何ににていると思う。」

と、聞きました。少しなやんでから、

「何かなあ、おじぞうさまかな。」

と、おばあちゃんは言いました。わたしは、ああ、そうだなと思いました。おじいちゃんは、メガネをかけると「せっけい図」というものを、じっといつまでも見えています。あきないのか

など思います。にこにこして、みんなのおしゃべりを聞いています。おじいちゃんは、あんまりしゃべりません。すわっていると、本もののおじぞうさまに見えてきました。

わたしは、大工しごとでつかう、小さなはしごをかりました。のぼって見たら、三だん目です。足がブルブルしました。

おじいちゃんは、大工しごとをしている時に、大きなケガをしました。何日も、ねたままうごけませんでした。だから、毎日おみまいに行きました。

おじいちゃんが、

「本当は、高いところはにがてなんだよなあ。」  
と言っていたのを、思い出しました。

おじいちゃんは、何十年も高いところでおしごとをしています。わたしといっしょで、きつと、足がブルブルしているんだと思います。でも、毎日おしごとに行きます。おじいちゃんは、つよくてやさしいおじぞうさまです。

もうすぐ、みんなですむおうちをたてます。おじいちゃんが、たててくれます。わたしも、たくさんお手つだいします。おじいちゃんがこわくないように、はしごをささえてあげたいと思います。

おじいちゃん、いつもありがとう。おじいちゃんの「ヒッヒッヒッ」のわらい声がすきだよ。あと、ザラザラしてゴツゴツの、あったかい手も大すきだよ。